

高専のトビラ

旭川高専産業技術振興会会長
佐々木 通彦
(機エフ・イー代表取締役)

— 第 3 回 —

旭川の機械業界における「ものづくり」の原点

・設備会社があつた。また、木工・家具工場には、旭川の機械屋が製造した機器が多く使用されていた。

私の会社も父の時代、合板（ベニヤ板）を製造するプレス機械や糊付け機械等を多くの旭川の家具工場や合板会社に納入していた。そして、農業にも、旭川の機械屋が関わってきた。

■貿易の自由化

私なりに旭川の機械業界における「ものづくり」の原点となってきた産業を振り返ると、旭川近隣には森林資源が豊富なことから紙・パルプ、木工・家具といった産業が栄え、盆地という気候風土と豊かな水源が稲作を中心とした農業を盛んにしてきたと考えられる。

こうした産業が旭川の機械金属業界の発展に関係してきたのである。以前はパルプ工場の構内に何社もの営繕に携わる機械

こうした産業に育てられた旭川の技術だが、1980年代から90年代にかけて、貿易の自由化が盛んになり、多くの海外製品が輸入されるようになった。旭川の家具工場や合板会社などもこの自由化の影響を受け、倒産や廃業に追い込まれた。当然、父の会社もこの影響を受け、低迷したのだった。

私は、このタイミングで6年間務めた会社を辞め、父の会社に入社した。1983年のこと

■環境負荷の軽減

この頃、日本経済は高度成長時代を経て、環境問題が大きくクローズアップされており、農業分野においても根菜類の流通は「産地の土を消費地に持ち込まない」といった環境負荷の軽減を目指した政策が実施された。

■根菜戦場機の開発

私は、父の関わってきた木工機械の仕事が縮小し、「根菜類の洗浄機」の開発を家業にしようと思ひ、その後、いろいろな問題を克服して、何とか現在に至っている。こうした技術は、日本の大型農業の中心である北海道で培われ、今では全国に広がっている。

■海外展開

近年は、アジアを中心に海外

向けの洗浄機の販売を展開している。さらにここ数年は、ASEAN地域の経済が急激に発展していることから、ベトナムに注目し、日本のODA事業などを活用して、進出計画に取り組んでいる。

「国が成長し、大都市化が進む中、必ず環境問題が起こる。そこには、私たちが経験してきた日本の、昭和や平成の技術や製品が生かせる場」が今のASEAN地域にはあり、私たちがこれまで培った技術を国際貢献や協力の場でも活かしていくことが大切である。

■旭川高専に期待

これからの旭川の「ものづくり」を考えたとき、旭川高専の役割は、地元企業との共同研究や優秀な人材を地域企業に輩出することであり、これからの旭川の発展に寄与するものと、大いに期待したい。

「旭川高専産業技術振興会」
旭川高専には「産業技術振興

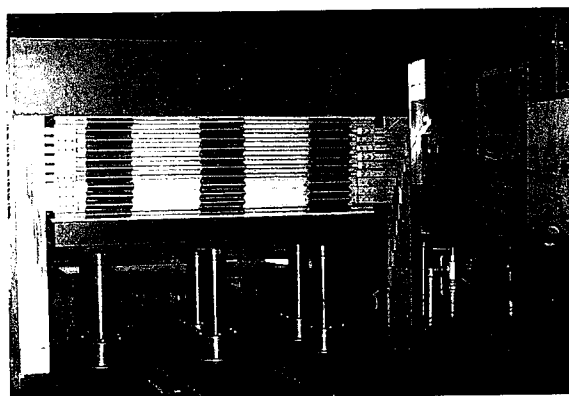
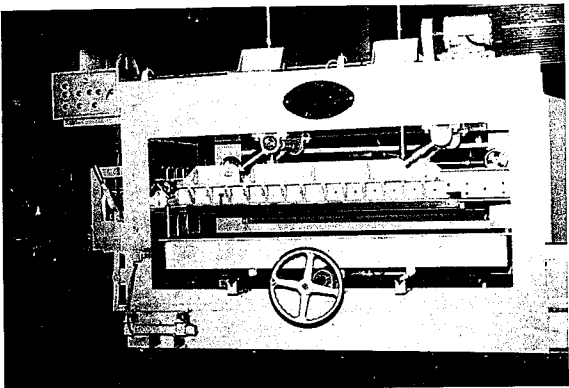
会」という組織がある。「旭川高専と地域産業界の幅広い交流・連携を活性化し、双方のレベルアップと地域社会の発展に

寄与すること」を目的にした組織で、平成14（2002）年6月に設立されている、
主な活動事業は、①産学官の

連携及び調整に関する事業②地域産業の発展に関する事業③教育研究の充実に関する事業④旭川高専と地域産業界の交流に関する事業⑤高専卒対象「ターンUターン」検索システムの運用など、現在、ものづくり系企業を中心に地元企業75社が、会の趣旨に賛同して会員となっている。

ちなみに同会が平成30（2018）年度に行った事業は、高専OBの地元企業への就職促進を図る「4高専OB人材マッチングデータベースの構築及びPR」（登録企業数35件）はじめ、「就職促進に向けた企業見学会」の開催、「旭川機械

金属工業振興会ものづくりセミナー」及び「3D研修会」の実施、「地域企業等との懇談会」（及びIoTセミナー）の開催など。
ほかに旭川高専オープンキャンパスや「高専祭」などでの企業PR協力、アイディア対決「全国高専ロボットコンテスト」出場のための協賛金拠出などの事業も行っている。
同会の事務局は、旭川商工会議所産業支援部産業振興課内（旭川市常盤通1丁目、TEL 0166・22・8413、URL <http://www.ccia.or.jp>）。



美味しさと品質をまもり続けて…



33

モンドセレクション
33年連続金賞受賞

国際的な品評会に出品し続けること、それはおいしさを保ち続けるお客様との約束。品質を維持しつづけること。そして、その価値を誰もがわかるようにすること…。そのことを目的に、歴史と権威のある国際品評会モンドセレクションに「き花」をエントリーしてまいりました。1988年から金賞4回、最高金賞29回と、今年で33年連続金賞を受賞。「き花」をつくり続ける上でいちばん大切なことを、これからもまもり続けて…。

き花



お求めは壺屋各店、壺屋オンラインショップ、道内空港、有名百貨店、各ショッピングセンターにてどうぞ

北の菓子舗
壺屋
www.tsuboya.net